



社会とつながる 学校

玉村町立玉村中学校通信

★★☆☆☆☆☆☆☆☆

令和3年度 2021年7月8日 自分で考える力を育てる 【笑顔あふれる学校】

味方になりきるコミュニケーション講座

★ みんなが ゲートキーパー プロジェクト ★

ゲートキーパー(Gatekeeper)とは、身近な人の危険を示すサインに気づき、その人の話を受け止め、必要に応じて専門相談機関につなぎ、見守る人のことです。

NPO法人日本ゲートキーパー協会では、『みんながゲートキーパープロジェクト』として「味方になりきるコミュニケーション」の普及を進めています。

そこで、玉村中学校でも、「笑顔あふれる学校」「心穏やかな学校」「主体的な学校」で「自分で考える力」を育むために、このプロジェクトに参加しました。



令和3年7月7日(水) 2~6時間目 玉村中地域交流スペース

【ゲストティーチャーは……】

NPO法人日本ゲートキーパー協会(株式会社ラポール企画)

大小原利信(だいこはらとしのぶ)先生・木村先生・若林先生

玉村中学校 2年生 5クラス 150人が受講しました。

味方になりきるコミュニケーション講座
みんながゲートキーパープロジェクト

「ほうれんそう」を知っていますか?

「ほうれんそう」とは、「報告」「連絡」「相談」の頭文字を取った言葉で主に仕事をやる場所です。この言葉には、「指図」が隠れている。報告・連絡・相談がしやすい職場環境をつくりましょうという意味があります。

みなさんも「味方になりきるコミュニケーション」を身につけて、頼んだ時、困った時にお互いがSOSを送りやすい環境をつくりましょう。

日常生活で…
OKメッセージを贈る
“名前とお名前をセットに” “いいとこ探し” “元だね”
嫌子が気になる人へ
アイメッセージを贈る
「あなたを見ていて元気がないように感じ、何か私にお手伝い出来ることありますか？」
「雨でしんどい」と思われたら…
ハートメッセージを贈る(挨拶・感謝・約束)
「強いてしんどい」と思われたら…
「強いてしんどい」と思われたら…
「強いてしんどい」と思われたら…
「強いてしんどい」と思われたら…



生徒の感想から

- 心が「晴れているとき」と「晴れていないとき」で、言われて嫌なことが全然違うんだということがわかりました。
- 友達の気持ちや状況に合わせて言葉を選ぶこと、そして、どんな言葉をかければその友達が嬉しい気持ちになれるかを、よく考えたいと思いました。
- 相手が落ち込んでいるときは、自分が言われて少し気持ちが楽になる言葉を書いてあげようと思っています。
- 改めて、自分の考えていることと相手の考えていることは違うんだということ学びました。今日からはそれを意識して生活していきたいです。